

NHK BS4K・NHK BS8K



◆南極大冒険

放送：2月の各日曜 午後8:00－8:59 ほか

2017年11月～2018年3月まで実施された第59次南極地域観測隊の夏隊に8K カメラが密着した、59分×4本シリーズ。様々な切り口で幅広い年代にいまの南極の姿を伝えてゆく南極大冒険。ナレーションは、俳優の佐藤隆太さん、高橋美鈴アナウンサー。

3日「南極観測船しらせ 氷の大地へ」

オーストラリア西部のパース近郊から出港して日本の観測拠点・昭和基地に到着するまでの3週間に渡る隊員たちの船旅を紹介。荒れ狂う海を越え、夜空に広がるオーロラ、分厚い海氷を豪快に砕きながら進む様子など、南極への大冒険を体感できる。



10日「氷の大地で探る 地球の未来」

総勢99人が参加する観測隊の活動に迫る。“地球の窓”と呼ばれる南極。海、大気、氷河、生きもの、湖など、手つかずの大自然には地球の過去・現在・未来を読み解くヒントが秘められている。各分野のスペシャリストが集結し、地球が発するシグナルをいち早くとらえようと奮闘する。



17日「密着！ペンギンの楽園」

アデリーペンギンとコウテイペンギンのたくましい子育てに迫る。極寒の南極を生き抜くペンギンたちの驚きの生態がいっぱい。さらに、くりくりの目元、ツヤツヤとした親鳥の羽毛、ヒナの産毛のふわふわ感などが鮮明に映し出されていて、ペンギンの魅力を思う存分味わうことができる。



24日「空から迫る 氷の絶景」

最後は、高性能防振装置を搭載したヘリで徹底的に8K で空撮した「空から迫る 氷の絶景」。日本のおよそ37倍もの広さがある南極大陸。どこまでも広がる白い大地、氷河の流れ、さまざまな形の巨大な氷山など、地球最後の秘境・南極が生み出した氷の世界の精細な色彩に魅了される。



NHKのバラエティー番組、初の4K番組！

◆「ブラタモリ」東京・豊洲～TOKYOサポーターは豊洲にやってくる！？～

放送:BS4K 2月2日(土)午後11:00～11:45

＜※総合放送:2018年12月15日(土)午後7時30分～8時15分＞

BS4Kに「ブラタモリ」が初登場！

舞台は、東京中央卸売市場が築地から移転して初めての年末年始を迎えた“豊洲”。お台場のフジテレビ、レインボーブリッジ、東京タワー、建設中のオリンピック選手村が見える晴海、そしてスカイツリーなど、東京の名所をぐるっと見渡せる絶好のポイントです。4K版では、番組おなじみの定点観測映像「タイムラプス」や、「ドローン撮影」を駆使して捉えたロング映像により、今も激変し続ける豊洲の姿をダイナミックに描きます。街歩き番組ならではの視点で描く4K版「ブラタモリ」、高精細映像でお楽しみください。



＜番組内容＞

今回、タモリさんが乗り込んだのは“水陸両用バス”。豊洲にある専用スロープから入水すると、見えてきたのは長さ3.5キロあまりの巨大な防波堤。昭和10年代、東京港の開港にあたり防波、防風のために建設されました。実はこの防波堤と東京港の建設による財政難を乗り切るため、東京をサポートする万博が計画され(日中戦争のため中止)、豊洲はその会場予定地となりました。

戦後、焼け野原になった東京。その復興の要となったのも豊洲です。東京の埠頭がある沿岸部は、すべて米軍が接收。船による東京への物資搬入は不可能な状況で、埠頭がなかったため接收を免れた豊洲の先を埋め立て、新たに埠頭を造りました。こうして船が着岸できるようになった豊洲に誕生したのは、石炭置き場(燃料)・火力発電所(電力)・ガス工場・製鉄工場。つまり豊洲は、東京復興の根幹を握るエネルギー埠頭、東京サポーターの集結地となったのです。その後、東京サポーターたちが次々と移転し、タワーマンションが立ち並ぶ近代的な街となった豊洲。その足元に、タモリさんが見つけた昭和の痕跡とは・・・？

出演:タモリ、林田 理沙アナウンサー